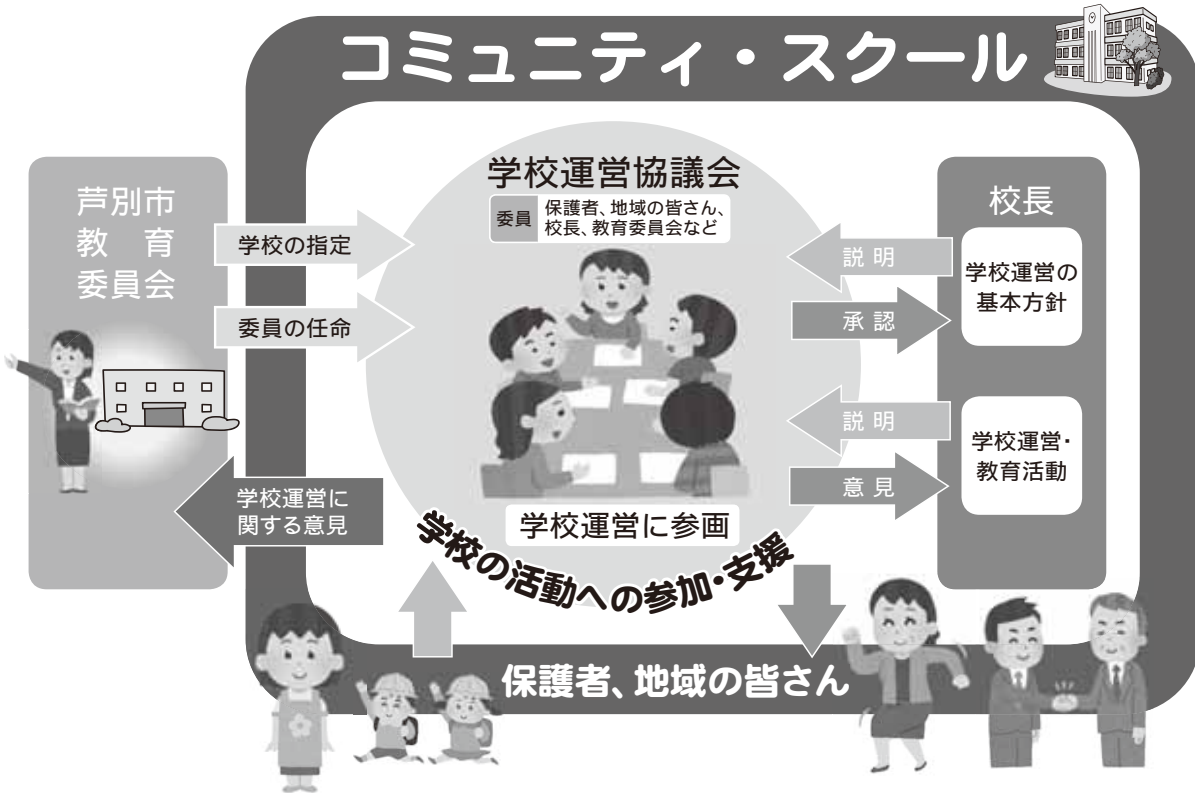


芦別市が目指すコミュニティ・スクール

★
健やかで心豊かに学べるまち

コミュニティ・スクール



～ 地域とともにある学校づくりを目指して～

★
コミュニティ・スクールがスタートします

子どもや学校が抱える問題が年々複雑になる中で、学校だけではなく地域全体で子どもを育てる仕組みづくりが求められており、その一つの方法が学校運営協議会(コミュニティ・スクール)です。

家庭や地域と学校が、課題を共有するために、一定の権限と責任を持って学校運営に参画する仕組み(学校運営協議会)を設置する学校を「コミュニティ・スクール」といいます。今年度、教育委員会では、市内二つの中学校区(芦別中学校区、啓成中学校区)の全4校をコミュニティ・スクールに指定しました。芦別中学校区では、芦別小学校と芦別中学校が、啓成中学校区では上芦別小学校と啓成中学校が、それぞれ連携を図りながら活動を進めていきます。

★
コミュニティ・スクールはこんな事をします

学校と地域・保護者の方が、力を合わせ互いに信頼し合い、それぞれの立場で主体的に子ども

もの成長を支えていくことが、コミュニティ・スクールの大きなねらいで、次のような役割をもっています。

一つ目は、校長が作成する学校運営の基本方針を承認することです。学校運営の基本的な考え方を理解していただき、校長とともに学校運営に責任を負うという意識を高め、学校を応援する役割を担っています。

二つ目は、学校運営について、教育委員会や校長に意見を述べることです。

三つ目は毎年一回以上、学校の運営状況について評価を行うことです。この部分は、これまで旧学校関係者評価委員会で行ってきた役割を引き継ぐものです。

四つ目は、学校のニーズを共有し、学校を支援する活動の企画・調整を行います。学校の運営に必要な支援について話し合い、保護者や地域の方の支援や協力を促進します。

五つ目は、保護者や地域の方の理解や協力、参画がより得られるよう情報の提供に努めることです。今後は、学校だけでなく学校運営協議会の活動状況

や会議の様子などを紹介していきます。

★
こんな効果を期待しています

○学校、家庭、地域がお互いに顔の分かる関係になり、地域ぐるみで子どもを育てる体制ができてきます。

○多くの大人の知識や経験など、地域の力を生かした学校運営や特色ある教育活動が実現できます。

○災害時の緊急対応など、学校と地域が一体となって取り組むことができます。

○学校と地域が情報を共有することができるようになります。



芦別市の コミュニティ・スクールは こんな組織で運営します

本市では、二つの中学校区の学校をコミュニティ・スクールに指定しました。今後は、「芦別中学校区学校運営協議会」と「啓成中学校区学校運営協議会」を組織し、活動を進めていきます。

各中学校区学校運営協議会は、今年度、左の組織図のように、保護者、校区内の市民、学校関係者など18名の委員で組織しており、学校支援部会、学校関係者評価部会の2つの部会のどちらかに所属し活動します。それぞれの部会は、学校が抱える諸課題について話し合い、学校支援活動の企画や調整を行ったり、学校が行う自己評価を客観的に確認したりする役割をもち活動します。

学校と地域との連携を深めること

中学校区学校運営協議会

- PTA関係者……………2名
- 町内会連合会……………1名
- 民生委員児童委員協議会……………1名
- 社会教育委員……………1名
- 旧学校関係者評価委員……………5名
- 青年会議所……………1名
- 青少年育成連絡協議会……………1名
- 学校関係者
(校長、教頭、CS担当職員)……………6名
- 計 18名

学校支援部会

- PTA関係者……………2名
- 町内会連合会……………1名
- 民生委員児童委員協議会……………1名
- 社会教育委員……………1名
- 青年会議所……………1名
- 青少年育成連絡協議会……………1名
- 学校関係者
(校長、教頭、CS担当職員)……………6名
- 計 13名
- 市教委事務局職員

学校関係者 評価部会

- 旧学校関係者
評価委員……………5名
- 市教委事務局職員

※CS：コミュニティ・スクールの略です。

で、地域ぐるみで子どもたちを支える活動が継続し、充実していくことを目指しています。

第1回芦別市合同学校 運営協議会を開催しました

5月22日、第1回芦別市合同学校運営協議会を開催しました。福島教育長から36名の委員に委嘱状を交付し、全体説明の後、それぞれの中学校区学校運営協議会に分かれ協議を行いました。

はじめに、委員長、副委員長の互選

を行い、芦別中学校区学校運営協議会は委員長に山田正行さん(民生委員児童委員協議会)、副委員長に片岡寿美香さん(旧学校関係者評価委員会)、啓成中学校区学校運営協議会は委員長に中村沙織さん(PTA連合会)、副委員長に齋藤雅樹さん(旧学校関係者評価委員会)を選出しました。

続いて、各学校の校長が、本年度の学校運営の基本方針について説明。委員の皆さんにご理解をいただき承認を受けました。協議の中では、学校運営協議会の委員がより学校を訪問しやすい環境づくりの工夫として、ネームプレートを準備してはどうだろうかなど、建設的な意見も出されていました。今年度は、2中学校区合同での学校運営協議会を年3回程度計画しており、その中で、先進地視察として北広島市を訪問して、活動の参観、意見交換を行うことも予定しています。

地域とともに歩む 学校づくりを目指して

「コミュニティ・スクール



準備委員会委員長
小林 晃彦

現在、学校が抱える課題が複雑化・困難化している状況の中、困難な課題を解決し、子供たちの生きる力を育ていくためには、地域住民や保護者の参画を得て、力を合わせて学校運営を行っていくことが求められています。

そのため、「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の仕組みを導入することで、学校・家庭・地域が育てたい子供像や目指す学校像を共有し、一体となって子供たちを育み、課題の解決に取り組みることが可能になると考えます。

本制度の導入によって、学校運営の改善をはじめ、児童生徒、教職員、保護者及び地域の人々にプラスの変容が見られるなど、さまざまな面で成果が期待でき、何より学校と地域との連携・協働体制が組織的・継続的に確立されるという点で大きな意義をもつものと確信しております。

(芦別市立芦別中学校長)